

自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

SOLE SCOPE

vol.

106

2023. Oct

TakeFree

ご自由にお取り
ください

Contents

1～2P 令和5年度 男女共同参画推進月間講演会

パパ育休で社会が変わる!? ～子育て支援の経済学～
山口慎太郎さん

3～4P 25th Anniversary

特別企画 ②

寄稿 小安美和さん
加藤伊都子さん

5～6P 講座・講演会のご案内

6P mini講座「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」第2回

弘田恵子さん

7P 相談室のご案内

図書・情報資料室から

貸室のご案内

詳しくは 高知 ソーレ

HP <https://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

パパ育休

で社会が変わる!?

～子育て支援の経済学～



6月24日(土) 13:30～15:00 開催

オンデマンド配信 6月28日(水)～7月13日(木)

ソールでは、毎年6月の男女共同参画推進月間に合わせ、講演会を行っています。

今年度は山口慎太郎さんをお招きし、男性の育休取得から、男性の家事育児参画が社会にもたらすものとは何か？「経済学」の視点からお話いただきました。

取らないのはなぜ!?

世界最高と評された日本男性の育休制度

様々な子育て支援策の中でも一番大事でありながら、一番過小評価されているのが、男性の育休だ。

近年、日本の男性の育休取得をめぐる環境は急速に良くなってはいるが、他の先進国に比べると、まだまだと感じる。これは制度が悪いから、あるいは国が悪いから、と考えるかもしれない。ところが、ユニセフでは日本の男性向け育休制度のデザインを、世界で一番充実していると評価している。国際的な育休制度の充実度を比較するうえで、男性だけに割り当てられた育休期間について、日本は52週と長い。また、育休中に受け取れる給付金についても非課税だったり、社会保険料が免除されるなど手厚い制度であるからだ。

では、なぜ日本の男性の育休をめぐる制度が世界最高にもかかわらず、取得状況は世界最低に近いのか。問題はなぜ取らないのかだ。では、どうすれば増えるのか。解決のヒントは、北欧の事例に得られると思う。

男性の育休取得は、会社を変える!?

福祉国家で制度も非常に充実しているイメージのある北欧の国ノルウェーでも、30年ぐらい前まで遡ると、今の日本より男性の育休取得率は低く、取得しない理由も「周りの目が気になる」や「上司に怒られる」など、日本と同様だった。実は北欧の人たちも、日本が直面している課題を経験していたのである。

そのノルウェーでは、男性の育休取得が“伝染”する、

ということが研究によって示されている。例えば、職場の同僚や兄弟など、ある程度近い人が育休を取ると、本人の育休取得率が11～15%上がる。さらに、上司が育休を取ると、「うちの会社は育休を取ってもいいんだ」という部下へのメッセージになる。責任ある人の影響力は凄まじいものがあるということもわかっている。あなたが育休を取ることは、あなたの後輩が育休を取りやすくなるように職場を変えていくことになる。自分が先陣を切って道を開いているんだという意識で育休を取得してほしい。

男性の育休取得は、家族も変える!?

男性の育休取得は、家族にも変化を与えるということが、脳科学の研究結果から示されている。研究によると、抱っこやおむつ換えなど、子どもとスキンシップをとることで男性も女性同様にオキシトシン(いわゆる愛情ホルモン)が出るようになる。カナダやスペインの報告では、育休の3年後に家事・育児時間が2割伸びたという結果も出ている。1ヶ月の育休取得であっても、数年後の行動が大きく変わることが期待される。



講師

山口慎太郎さん (東京大学経済学研究科教授)

内閣府・男女共同参画会議 議員、朝日新聞論壇委員、日本経済新聞コラムニストなども務める。1999年慶應義塾大学商学部卒業。2001年同大学大学院商学研究科 修士課程修了。2006年アメリカ・ウィスコンシン大学経済学博士号(Ph.D.)取得。カナダ・マクマスター大学助教授、准教授、東京大学准教授を経て2019年より現職。専門は労働市場を分析する「労働経済学」と結婚・出産・子育てなどを経済学的手法で研究する「家族の経済学」。『子育て支援の経済学』(日本評論社)は第64回 日経・経済図書文化賞を受賞。2021年に日本経済学会石川賞受賞。



男性の育休取得は、子どものジェンダー観にも影響する!?

ノルウェーでは、子どもの16歳時点での偏差値が1向上している。親子の触れ合いにより、子どもが心配なく勉強できるとか、あるいはより積極的に父親が子どもに対して働きかけるといった関係が築かれたためではないか。

スペインの事例では、父親が子育てに熱心になり、子どもたちがよりジェンダーニュートラルな価値観を持つようになったと報告されている。12歳の子どもたちへの調査で、父親が育休を取得したケースで見ると、例えば幼い子どもを持つ母親が働くことに対して賛成であるという意見が多くなっている。さらに、幼い子どもを持つ父親がフルタイムで働かないことにも賛成している。自分の父親が育休をとって、さらにその後も家事育児に関わるようになると、伝統的な母親・父親のあり方ではなくても問題ないと答える割合が増えていた。このように親の世代で起こった変化が、子どもの世代に影響し、社会というのが少しずつ動いていくということが研究からも明らかにされている。

母親のフルタイム就業率が增える!?

カナダ・ケベック州では、男性が育休を取ることで、母親のフルタイム就業率が5%増えた。男性が家事や育児をして、家庭の責任を共に担うことにより、結果的に女性が家の中で担わなければならなかった家事・育児が軽減されたからだ。

このほか、アイスランドの事例では、男性の育休取得によって夫婦間の不和が減り、出産5年後・10年後の離婚率が下がる、という結果も出ている。

育休を取得しやすい環境づくりは社会を変える

育休取得を促進するために取り組むべきことは、仕事の属人化の排除と業務の棚卸だ。会社として仕事の質を安定させるためにも、一つの仕事に対して複数の人が担当できるように業務を見直しておく必要がある。業務の棚卸は業務改善にも繋がり、企業にとってプラスになる。さらに、テレワークの推進で、夫が家事育児をする時間の確保ができるようになれば、妻の負担も減少する。こうした育休を取得しやすい環境づくりは、働き方改革につながり、最終的には少子化解消にもつながっていくのではないだろうか。

男性の育休取得は、家族を変えるだけではなく、会社にも良い影響があり、同時に社会がどんどん変わっていくきっかけとなるものだ。1ヶ月で人生は変わるし、社会も変わるという意識を持って、男性の育休について周りの人が温かい眼差しを向け、応援をしていただきたい。そうした積み重ねによって、社会が良い方向に変わっていくのではないかと期待している。





ソーレは2024年1月に開館25周年を迎えます。特別企画として、3回に渡り県内外で活躍されている方々から、これからのソーレに期待することなどメッセージを寄せていただき、ご紹介しています。

「地方×女性×はたらく」を阻む 5つの壁を超えるために

こやす みわ
小安 美和さん（株式会社 Will Lab（ウィルラボ）代表取締役）



[プロフィール]

東京外国語大学卒業後、日本経済新聞社に入社。2005年、株式会社リクルートに入社。エイビロードnet編集長、上海駐在などを経て、株式会社リクルートジョブズ執行役員 経営統括室長と経営企画部長を兼任。2015年より、リクルートホールディングスで「子育てしながら働きやすい世の中を共に創るiction!」プロジェクト推進事務局長を務める。2017年、株式会社Will Labを設立。企業や地方自治体と連携し、全国各地で女性のエンパワーメントに取り組んでいる。

今年6月、世界経済フォーラムが発表した「ジェンダー・ギャップ指数2023」で日本は世界146か国中125位と、過去最低ランクとなりました。ジェンダー・ギャップ指数は、政治、経済、教育、健康の4つの分野のジェンダー平等の状況を指数化したものとなりますが、特に、政治、経済分野におけるジェンダー・ギャップが大きいのが日本の特徴です。

日本の中のジェンダー平等の状況については、「地域からジェンダー平等研究会」が2022年より「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数※」を政治、行政、教育、経済の4分野の指標を算出・公表しています。2023年度の結果によると、高知県は47都道府県の中で、政治32位、行政7位、教育1位、経済6位との結果になっています。経済分野では、女性の就労率の高さなどからランキングは高くなっていますが、実際に企業の中で役員会の意思決定層にどの程度女性がいるか、管理職を担う女性がどの程度いるかとなると、高知県の経済分野においてもまだまだジェンダー・ギャップ解消の余地は大きいのではないのでしょうか。

昨年、ソーレ主催「女性リーダー応援塾」にて講義をさせていただいた際に、参加者との対話の中から、職場でリーダーシップを発揮することに難しさを感じている女性が多いことを肌で感じました。この、日本全国どの地域の女性も感じている言葉にならない難しさをわたしは「女性×はたらく」を阻む5つの壁」と表現しています。

①女性自身の壁

経験やスキルのなさから生じる自信のなさ

②職場環境／働き方の壁

働きやすく働きがいのある働き方ができる制度と風土の欠如

③ケアサービスの壁

地域における子育て、介護などのサポート不足

④家庭の壁

女性に偏った家事・育児負担

⑤社会規範の壁

男性は外で働き、女性は家を守るといった固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見による決めつけ

日本全国、どの地域においてもこの「5つの壁」が存在しますが、注目したいのが②の「職場環境／働き方の壁」。この課題は、女性活躍推進法の対象となる大企業から改善が進んでおり、大企業の多い都市部と、中小企業の多い地方で格差が生じる可能性があります。

高知県で働く女性の能力・意欲が活かされ、地域の力となっていくためには、ぜひソーレを中心に地域の中小企業との連携を強化し、女性が働く職場環境の改善とセットで働く女性の意識とスキルの強化を進めていただくことをさらに期待しています。

※都道府県版ジェンダー・ギャップ指数
<https://digital.kyodonews.jp/gender-equality/index.html>

ソーレ開館 25 周年を迎えるにあたって ～仲間と新しい価値とに出会う場所として～

かとう いっこ
加藤 伊都子さん

(フェミニストカウンセリング堺所屬)

日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー)



[プロフィール]

「フェミニストカウンセリング堺」及び自治体の相談室でフェミニストカウンセリングを行うほか、女性のための自己主張・自己尊重トレーニングのグループトレーナー、サポートグループ・CRなど女性のための語り合いグループのファシリテーター活動を行う。また、セクハラ・DV防止研修、被害者支援活動を行うとともに、20年にわたる親業インストラクターの経験を活かし、教育問題講演会、母親グループのファシリテーターなど、子育て支援にも取り組む。

開館25周年を迎えるとのこと、おめでとうございます。ホームページには平成11年1月29日開設とあります。平成11年(1999年)と言えば、男女共同参画基本法が成立した年。「ソーレ」の誕生は基本法成立の5か月ほど前。その後、DV防止法が2001年に成立。数度の改正を経て、今年、精神的暴力も保護命令の対象になるなどの改正が行われました。また今年、当事者の声を通り、「強制的性交罪」が「不同意性交罪」に変更されました。その他にも2021年の育児・介護休業法改正など、女性が暮らしやすい社会に一步ずつ近づいています。ですが、今も女性に課せられた家庭責任は重く、結婚、子産みをめぐる圧力も変わっていません。さらにいったん職を離れた後の職業生活の不如意、十分とは言えない賃金、働き続けなければ暮らせない低年金など、多くの女性が経験する理不尽もそのままです。また思いがけない病、不慮の事故、DV被害や離婚、暴力被害など、いずれもそんな目には遭わないと言い切ることはできません。これらはいずれも社会課題が個人の身の上に現れるものであり、「自己責任」に原因を求められるものではありません。

しかしとても多くの女性が、「私のやり方が悪かったから」「もっと早くに自覚していれば」「私が〇(夫、親、子ども)の気持ちをわかってあげていれば」と自分を責め、「私をもっと頑張れば」あるいは「自分が我慢

すれば」と自分を追い込んでいます。中には「私には能力がないから」「無理だから」「〇(夫、親、子ども)が許さないから」と自分の希望や夢を諦めている女性もいます。その希望や夢のほとんどは大それたものではありません。たとえば、「一人の時間が欲しい」「仕事で疲れた日は夕食を作りたくない」「友達と旅行に行きたい」等々…若い女性の「あの学校に行きたい」「この仕事につきたい」「一人暮らしをしたい」なども同じです。いずれも本人に認められるべき権利ですが、諦めることに慣れてしまって希望に気づいていない女性もいます。不安で、怖くて、希望に向かう行動を取れない女性もいます。

でもわずかずつつですが、女性を取り巻く環境は変わっています。これまでも、同じように悩み自分を責めていた女性たちが解決を求めて「ソーレ」に集っていたはず。その人たちの中には、問題を克服して新しい自分を手に入れた人たちがいたはず。怖れることはありません。これまでうまくいかなかったのは自分のせいではありません。許してもらえず、励ましてもらえず、必要な助力を得られなかっただけです。

女性たちが恐れや不安を手放し、仲間と出会い、新しい価値と勇気を手に入れる場所として、今後とも「ソーレ」が機能し続けていくことを願っています。



講座のご案内

●詳しくは、HPをご覧ください。 ●お申し込み



DV防止啓発講演会

加害者がとられる「男らしさの病」とは

無料



オンデマンド

DVには「暴力をもって支配してもよい」という刷り込みがあり、無意識による「有害な男らしさ」へのとられ、思い込みがあります。この無意識が当たり前のように広がっている社会を「男尊女卑依存症社会」と鋭く指摘する齊藤章佳さんのお話を耳を傾けてみませんか。



講師 齊藤 章佳

大船榎本クリニック精神保健福祉部長(精神保健福祉士/社会福祉士)

1979年生まれ。ソーシャルワーカーとして、約20年に渡りアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなど様々なアディクション問題に携わる。専門は加害者臨床で現在まで2500名以上の性犯罪者の治療に関わる。東京都痴漢被害実態把握調査委員、一般社団法人痴漢抑止活動センターアドバイザー。

日時 11月18日(土) 13:30~15:30

対象 テーマに関心のある方

定員 100名(先着順)

申込 電話またはHPにて受付中

その他 11月24日(金)~12月7日(木)までオンデマンド配信 (HPにて要申込)

サテライト会場

※要約筆記と託児はソレ会場のみ

のいちふれあいセンター 2階研修室(香南市野市町西野534-1)

定員 50名(会場のスクリーンにてライブ視聴/講師は来場しません)

申込先 香南市人権課 TEL:0887-57-8507

受付期間 平日8:30~17:15(12:00~13:00を除く)

共催:高知地方事務局/高知県人権擁護委員連合会/高知県女性保護対策協議会 協力:香南市人権課

就労支援講座



プロに学ぶ!「セルフプロデュース」

「自己演出」方法を学んで、なりたい・ありたい自分を発見!就職や転職など仕事に活かせる就労支援講座です。

日時 10月1日(日) 13:30~15:30

講師 平野智佐 (Office C Career 代表、キャリアコンサルタント)

対象 女性 定員 20名(先着順)

参加費 1,000円

申込 電話またはHPにて受付中

男女共同参画講座 ジェンダーカフェ (全3回)

無料



だれもが世界でたったひとりのだいじな「じぶん」

講師のお話をもとに、身近なジェンダー問題について参加者同士で気軽に話し合う「ジェンダーカフェ」。8年間1000講座を超える出前講座を子どもたちに届けてきた「にじいろi-Ru」さんによる大人向けの講座です。1回だけの参加も可能です。

第2回 10月15日(日) そこにいるのにいないものにしてきたのは誰?

第3回 11月12日(日) 誰もが排除されない社会を作るために今日からできることは?

時間 各回13:30~16:00

定員 各回20名(先着順)

講師 田中一步・近藤孝子(にじいろi-Ru(アイル))

申込 電話またはHPにて

対象 テーマに関心のある方

受付中

女性の活躍応援講座 <オンデマンド配信>

「タイムマネジメント」で、私の明日をブラッシュアップ

無料



オンデマンド

仕事にプライベートに忙しい毎日、限られた時間を有効に使うスキル「タイムマネジメント」を自分のペースで学びませんか。

配信期間 10月22日(日) 9:00~

11月4日(土) 17:00

講師 山岡仁美(株式会社グロウス・カンパニー・プラス代表取締役、人財育成コンサルタント)

対象 女性

申込受付期間 11月1日(水) 17:00までHPにて

その他 講座は約60分。

YouTube公式チャンネルからの限定公開です。

女性の居場所づくり ゆるりのしっぽ(全6回)

無料



自分らしく生きるために自分のペースで必要なことからをつけていく自分のための居場所づくり。申込不要。途中での参加や退出も可能です。

第3回 10月30日(月) 14:00~15:00

私らしく社会とつながる~「女性相談支援センター」は悩める私の応援団~

来年4月施行の「困難女性支援法」。支援の中心となる女性相談支援センター職員の方から、困難な問題に直面した時、配偶者やパートナーとの関係を見直したい時、あなたやあなたの大切な人を守るための話をします。

講師 女性相談支援センター職員 託児 10月27日(金)17:00までに要予約

第4回 12月24日(日) 13:00~15:30

ふらりっとゆるりっとつながる相談会

体や心、生活の困りごとについての相談会開催。天然アロマの万能クリーム作りやお子さま向けワーク、カフェスペース等全て無料。食品配布あり。ひとりで悩みを抱えず、ふらりっと立ち寄り、ゆるりっとソレでつながりませんか。

託児 会場内にあり(予約不要)、対象は6ヵ月~未就学児童。

対象 女性 初参加の方対象...「女性と地球にスマイルを」の合い言葉で始まった「コスメバンクプロジェクト事務局」より提供いただいたコスメをご希望者にお渡しします。



お問い合わせは、**088-873-9100**まで
(受付時間 9:00~17:00)

無料 受講無料

託児付き(6カ月~
小学3年生まで・予約制)
未就学児童は無料。
小学生は1家族500円。

オンライン
受講可能

オンデマンド
受講可能

●男性家事・介護基礎講座



家事^{カジダン}料理教室 料理初心者の男性集まれ!!
[メニュー] アサリとじゃこのクッパ風・ピリ辛鶏手羽

日頃料理に親しみのない男性のみなさん!仲間と一緒に料理に挑戦してみませんか。プロの調理師が丁寧に説明しますから、料理初心者でも大丈夫。さあ、一步踏み出しましょう!

日時 11月26日(日) 10:00~13:00

講師 島村昌利(RKC調理製菓専門学校 校長)

対象 男性 **定員** 16名(先着順) **参加費** 2,000円(材料費含む)

申込 10月21日(土) 9:00~電話にて

※食物アレルギーのある方はお問い合わせください。マスク、三角巾、タオル、エプロンをご持参ください。

●男女共同参画講座 <オンデマンド配信>



なぜ進まない?ジェンダー平等
「無意識のバイアス」が阻むもの

ジェンダー平等を阻む「無意識のバイアス(アンコンシャス・バイアス)」について、海洋分野の研究者として活躍する講師が思いを語ります。

配信期間 11月9日(木) 0:00~11月22日(水) 17:00

講師 窪川かおる(帝京大先端総合研究機構客員教授、
海の女性ネットワーク代表)

対象 テーマに関心のある方

申込受付期間 11月20日(月) 17:00までHPにて

その他 講座は約60分。You Tube公式チャンネルからの限定公開です。

●防災教室



被災地から学ぶ「災害に強い地域づくり」

「災害に強い地域づくり」について、被災地で支援活動に携わった講師に多様性の視点でお話しいただきます。

日時 12月2日(土) 13:30~16:00

講師 宗片恵美子(NPO法人イコールネット仙台 常務理事)

対象 テーマに関心のある方 **定員** 30名(先着順)

申込 10月14日(土) 9:00~電話またはHPにて

●防災フォーラム



地域連携フォーラム~多様な視点で育てる地域の防災力~

様々な立場の人の参加と連携により、防災・減災に多様な視点を取り入れ、地域の防災力を高めましょう。

日時 12月3日(日) 13:30~15:30

会場 四万十市社会福祉センター(四万十市右山五月町8-3)

講師 宗片恵美子(NPO法人イコールネット仙台 常務理事)

対象 テーマに関心のある方 **定員** 100名(先着順)

申込 10月1日(日) 9:00~電話またはHPにて

ソールまつり2024

期間 令和6年1月13日(土)~28日(日)

開館25周年を迎えるソール。利用団体によるステージ、展示、バザー、講演会や特別企画を実施予定。会場&HP特設サイトをお楽しみに!

特設サイト 1月13日(土)~28日(日) **全館開催** 1月28日(日)

mini講座(全2回)

第2回 “リプロダクティブ・ヘルス/ライツ”と月経教育を考える

ひろ た けい こ
弘田 恵子さん

高知中央高等学校看護学科 専攻科 母性・小児看護学 非常勤講師
公益財団法人 母子衛生研究会 母子保健相談員



改訂版「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の日本語翻訳版が2020年に出版されました。よりジェンダー平等の実現に向けたものとなっていて、日本の性教育に不可欠な「指針」として位置づいてきています。

ガイダンスには8つのキーコンセプトと、それぞれに学習目標やキーアイデアが掲げられています。月経についても、各年齢の学習者ができるようにすることとして、具体的な知識、態度、スキルが挙がっています。5~8歳では、性器の基本的な機能を知ったり、男女のからだの同じところや違うところ、そしてそれらが時間の経過とともにどう変化していくかも学習できるよう、ジェンダー不平等が月経中の女子の恥ずかしさや恐れのお気持ちにどのように影響しているかを再認識することなどが明記されています。

初経前から、からだのことや妊娠出産について知ること

は必須ですし、月経周期や、経験する可能性のあるさまざまな具体的な症状や気持ちのこと、それらは相談できることなど、詳細に学ぶ機会が必要です。

小学校の学習指導要領では「人の受精に至る過程は取り扱わないものとする」いわゆる“はどめ規定”があり、月経についても女子を対象にそのしくみについて教える授業が中心の現状です。男子からの理解を得られず、嫌で恥ずかしいという心情で月経を肯定的に受け入れられず、心身の不調に関しても我慢したり相談できないといった実態があります。

月経を含めた自分のからだを肯定的に受け入れ、自尊感情を育ていけるよう、ジェンダー平等を基盤とした科学的で正しい性の知識を深めていきたいものです。

(完)

ソーレ相談室のご案内

ソーレには“こころ”をひらく場所があります。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください(相談無料・秘密厳守)。

女性のための相談

一般相談 専用電話:088-873-9555

相談時間 休館日を除いた9:00~12:00、13:00~17:00
(受付は16:00まで)

法律相談(1人30分・予約制)

日時 毎月第2・4木曜日 14:00~16:00

こころの相談(1人50分・予約制) ※託児あり(要予約)

日時 毎月第1・3木曜日 14:00~16:00

男性のための悩み相談(1人50分・予約制)

日時 毎月第1火曜日、第2金曜日、第3・4水曜日 18:00~20:00

にじいろコール~LGBTsに関する相談~

専用電話:0120-56-2416



専門の相談員が、LGBTsなどの相談(性自認及び性的指向に関する様々な悩みや相談)をお受けしています。ご本人だけでなく、家族・友人・先生などもご利用になれます。発信者の電話番号は表示されません。安心してご相談ください。

日時 毎月第4土曜日 13:30~16:30

法律相談、こころの相談、男性のための悩み相談の予約電話番号は **088-873-9100** です。

- ・当月1日より翌月分を受付します。
- ・相談日は変更になる場合があります。あらかじめ、お電話またはソーレHPの相談カレンダーにてご確認ください。

ソーレ図書・情報資料室から

図書約10,000冊以上、DVD約1,000本を置いています。

是非ご利用ください。(DVDは資料室でもご覧いただけます)

※毎月第4木曜日14:00~16:00は図書点検整理日のため休室します。

..... 貸出について

図書 5冊まで2週間

DVD 2本まで1週間

※高知市外在住の方は2週間

貸室案内

利用登録をすれば、「1時間単位」で借りられます。低料金、しかもプロジェクターなどの備品、空調使用料はかかりません。予約は「予約システム」またはお電話で!

利用料のお支払いはコンビニ、ペイジーもOK!

現金での窓口払いのほか、コンビニやペイジーでのお支払いができます。

電停・旭駅まで5分以内!

Wi-Fiが使えます!

バス・電車の停留所、JR旭駅から徒歩約5分以内です。

貸室内(レクリエーション室を除く)のみ。ご利用時は受付にお申し出ください。

予約システム



大会議室



和室 レクリエーション室

施設利用のご案内



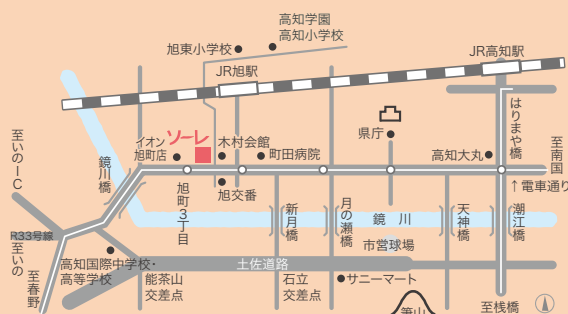
- 貸室利用時間
9:00~21:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
- 休館日
第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日
- 図書・情報資料室
9:00~20:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
※ただし図書利用カードの発行、及び再発行の受付は17:00まで
- 相談室
9:00~12:00、13:00~17:00(受付は16:00まで)
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見を是非お寄せください。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <https://www.sole-kochi.or.jp>

SOLE SCOPE(ソーレ・スコープ)のSCOPEは、広さ・広がりという意味。ソーレ(イタリア語で「太陽」)を拠点として、情報が広がることを意味します。



- 所在地
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車...「旭町3丁目」徒歩約1分
バス...「旭町3丁目」徒歩約1~3分
JR...「旭駅」徒歩約5分

駐車場の台数が非常に少ないため、お越しの際には公共交通機関のご利用をお願いします。